

【プレスリリース】

2026 年 2 月 10 日

株式会社 OIC グループ

株式会社 eatopia ホールディングス

GO TO MIRAI PTE LTD

## OIC グループ、シンガポールを拠点に外食事業のアジア展開加速へ 現地で飲食店などを手がける「Komars Group」各社と運営基盤強化



「株式会社 OIC グループ（オイシーグループ、代表取締役 高木 勇輔）」（以下、OIC グループ）は、2026 年 2 月 6 日、アジア全域で事業を行う「Komars Group（コマースグループ、松田 幸樹氏が経営する各企業の総称）」が展開する、シンガポールにおける外食事業会社「GO TO MIRAI PTE LTD

（ゴートゥーミライ プライベート リミテッド）」の株式を譲り受け、同社は OIC グループへ参画しました。

「Komars Group」は、シンガポールを拠点に、日本・香港・タイなどアジア各国で約 30 年にわたり外食や理美容などの事業を展開しています。シンガポールでは、“寿司”や“うなぎ”、“ラーメン”といった日本食専門の飲食店を運営しており、今回の協業は、「Komars Group」の「おいしいご飯で国境を超える」という思いと、OIC グループが掲げる「日本食を世界へ」というビジョンが合致し、実現に至りました。

今後は、OIC グループが持つ商品開発力や調達力と、「Komars Group」が培ってきたアジア圏での飲食店経営の知見を融合させ、シンガポールにおける日本食事業の強化と新規出店を推進します。

将来的には、OIC グループ各社が持つ知識や経験を融合し、外食にとどまらず、生産・製造・小売・流通・IT・人材といった、食に関わるあらゆる分野を段階的につなげた総合的な事業展開を行い、東南アジアや北米へのさらなる展開を目指してまいります。

2026 年 2 月 10 日

株式会社 OIC グループ

株式会社 eatopia ホールディングス

GO TO MIRAI PTE LTD

## シンガポールの外食事業が OIC グループへ参画

### 「日本食を世界へ」をテーマに、アジア進出の拠点化を目指す

OIC グループは、2026 年 2 月 6 日、アジア全域で事業を行う「Komars Group」の松田 幸樹（まつだ こうき）氏が展開するシンガポールにおける日本食専門事業会社「GO TO MIRAI PTE LTD」の株式を譲り受け、同社は OIC グループへ参画しました。

「Komars Group」は、シンガポールを拠点に、日本・香港・タイなどアジア各国で約 30 年にわたり外食や理美容事業を展開しており、シンガポールでは、“寿司”や“うなぎ”、“ラーメン”といった日本食専門の飲食店を運営しています。今回の協業は、「Komars Group」の「おいしいご飯で国境を超える」という日本食をさらに世界へ広げていきたい思いと、OIC グループが掲げる「日本食を世界へ」というビジョンが合致し、実現に至りました。

「GO TO MIRAI PTE LTD」の代表取締役社長には、OIC グループのグループ会社である

「株式会社 eatopia ホールディングス（イートピア ホールディングス）」（以下、eatopia HD）の代表取締役を務める伊藤 永（いとう ひさし）氏が就任し、新体制の下、日本食事業のさらなる強化を図り、新規出店を推進してまいります。取締役には、現地の店舗運営を統括してきた赤羽根 祐司（あかばね ゆうじ）氏が就任し、外食事業のプロ同士が強固な連携を図ります。

「Komars Group」は、管理機能を担い、シンガポールにおける外食事業を引き続きバックアップいたします。



## シンガポールを拠点とし、外食事業のアジアへの展開を加速

シンガポールでは、2025 年の実質 GDP 成長率（速報値）が前年比 4.8%と、前年を上回る成長を記録しています。この十数年で日本企業の進出が相次ぎ、日本食は日常的に親しまれる食文化として定着してきました。こうした環境下において、現地の外食事業が OIC グループに参画することは、同グループの海外展開を加速させる大きな推進力となります。また、シンガポールは空港・港湾をはじめとした国際物流インフラや通信インフラに加え、グローバルな専門人材が集結するアジア有数のビジネス拠点です。マレーシアに隣接している点や、人口規模が大きいインドネシアやフィリピンにも近接している点などの地理的な優位性からも、アジア展開の戦略拠点として高いポテンシャルを有しています。

一方で、外食事業の海外展開においては、各国との競争環境や食文化・食習慣への理解が不可欠であり、地域に根差した“ローカライズ力”と、“安定した運営体制”の構築が、成長の鍵になります。

2026 年 2 月 10 日

株式会社 OIC グループ

株式会社 eatopia ホールディングス

GO TO MIRAI PTE LTD

## OIC グループと「Komars Group」の強みを組み合わせ、生産、流通、IT、人材などへ事業領域を拡大

OIC グループは、グループの中核を担う食品スーパーマーケット「食生活♥♥（ラブラブ）ロピア」を国内 137 店舗、台湾では「LOPIA JAPAN」と名付け 9 店舗を展開し、2026 年 2 月にはタイへ初出店するなど、アジアでの事業拡大を進めています。

また、外食部門を統括する「eatopia HD」は、肉割烹「本店山科」や「銀座ろくさん亭」、ミシュランガイド掲載のラーメン店「ソラノイロ」など多様な業態を展開し、2025 年には台湾に「ラーメン横丁」をオープンしました。今後も台湾をはじめとする海外展開を視野に入れています。

「Komars Group」は、現地・シンガポールの食文化や嗜好（しこう）を踏まえた“ローカライズ力”を培ってきたことに加え、総務・人事・経理などのバックオフィス機能を含む、外食事業運営の仕組みを確立しており、日本食事業のパイオニアとして、シンガポールの外食事業「GO TO MIRAI PTE LTD」をサポートします。同社の取締役には、現地運営を担っている赤羽根氏が就任し、現地への理解と運営力を生かしたさらなる事業成長を実現してまいります。日本の「おいしい」を現地に根差した形で届け、アジア全体へと広げていくための体制を強化していきます。

今後は、OIC グループが持つ商品開発力や調達力と、「Komars Group」が培ってきたアジア圏での飲食店経営の知見を融合させ、シンガポールにおける日本食事業の強化と新規出店を推進します。

将来的には、知識や経験を融合し、外食にとどまらず、生産・製造・小売・流通・IT・人材といった食に関わるあらゆる分野を段階的につなげた総合的な事業展開を行い、東南アジアや北米へのさらなる展開を目指してまいります。

### 今後予定している展開

- ・シンガポール国内における日本食業態（“寿司”、“うなぎ”、“ラーメン”等）の新規店舗出店
- ・OIC グループのグループ会社との連携やコラボレーションの検討
- ・“うなぎ”、“焼き鳥”、“天ぷら”などを集積した「日本食横丁」や、モール型ラーメン業態の展開
- ・日本国内の日本食と、シンガポールで発展した日本食の相互展開

### 「GO TO MIRAI PTE LTD」代表取締役社長 伊藤 永氏

「Komars Group」は、松田さんの「日本食を世界に広めていきたい」という強い思いと、赤羽根さんの掲げる「おいしいご飯で国境を超える」というビジョンを軸に、日本食を大切にしながら事業展開している姿勢に共感しました。OIC グループの海外展開において、シンガポールは、アジアへ広がっていくための重要な拠点と位置付けています。日本国内で育まれてきた日本食と、シンガポールで独自に発展した日本食の双方を生かしながら、国境を超えて相互に流通させていきたいです。将来的には、OIC グループの外食事業とのコラボレーションにも取り組み、シンガポールの皆様にワクワクしていただける食の体験を提供していきたいと思います。

## 【プレスリリース】

2026 年 2 月 10 日

株式会社 OIC グループ

株式会社 eatopia ホールディングス

GO TO MIRAI PTE LTD

### 「GO TO MIRAI PTE LTD」取締役（現地運営）赤羽根 祐司氏

「おいしいご飯で国境を超える」という思いで、シンガポールで日本食専門店の運営に携わってきました。これまで自分たちなりの方法で運営してきましたが、OIC グループへ参画することで、仕入れや運営、店舗展開などに関する知見を学び、現地で培ってきた知識や経験と組み合わせることができると考えています。長期的には、OIC グループの外食事業とシンガポールでの展開と掛け合わせることで新たな広がりが生まれるのではないかと期待しています。シンガポールを起点に、アジア全体へ日本食の良さを伝えていきたいと思っています。

### 「Komars Group」創業者 松田 幸樹氏

OIC グループは、東南アジアやアメリカなど海外展開を視野に入れている点に加え、外食事業も手がけており、シンガポールで展開してきた事業との親和性が高いと感じ、外食事業の参画に至りました。海外での飲食店の運営においては、人脈と現地理解が非常に重要です。赤羽根さんはシンガポールで経験を積んできており OIC グループが持つノウハウや人脈と組み合わせることで、さらに事業を発展へ導けると感じました。また、仕入れの面でも強化を図り、サプライヤーの開拓を進めながら、将来的には東南アジア地域への出店も視野に入れ、サポートしたいと考えています。

### OIC グループについて

“おいしい・たのしい・うれしい”食体験を世界に届ける、“食品総合流通業”を展開する OIC グループは、1971 年に精肉専門店として創業し、他の生鮮食品も取りそろえるスーパーマーケットに事業を拡大しました。現在では、小売の枠を超え、生産・製造、貿易、卸、外食まで事業を拡大し、“食のテーマパーク”と位置付けて展開しています。日本国内のみならず、アジアから世界で成長を続け、2031 年度までに売上高 2 兆円の実現を目標としています。

商 号：株式会社 OIC グループ

本 社：神奈川県川崎市幸区南幸町 2 丁目 9 番地

設 立：1971 年 4 月 28 日

代 表 者：代表取締役 高木 勇輔

売 上 高：5,213 億円（2025 年 2 月期）

事 業 内 容：食品スーパーマーケット・食肉専門店・外食店舗の運営、肉加工品・パン・惣菜・調味料などの製造・販売、食肉・青果物の生産・販売、生鮮品・加工食品・酒の輸出入・卸



## 【プレスリリース】

2026 年 2 月 10 日

株式会社 OIC グループ

株式会社 eatopia ホールディングス

GO TO MIRAI PTE LTD

### eatopia ホールディングスについて

「外食のユートピアを創造し、世界を豊かに」という理念のもと、“味・サービス・価格・体験・利便性”の 5 つの要素を高め続け、お客様にとって替えが効かない外食店舗を展開することをミッションとした企業です。理念にあるユートピアは「楽しく感動して、いつも行きたいところ」という意味で私たちは使っていますが、同時にユートピアという言葉には「どこにもないところ」という意味もあります。他社がすでに表現できていることは「すでにあるところ」ですから、私たちは常に新しいことに挑戦し、私たちがやらなければ存在しない「あの店」を創造することを目指しています。そしてお客様にとって替えが効かない「あの店」となったとき、そのブランドを海外にも広め、世界を豊かにしていきます。

商 号 : 株式会社 eatopia ホールディングス

本 社 : 神奈川県川崎市幸区南幸町 2 丁目 9 番地 1

代 表 者 : 代表取締役 伊藤 永

事 業 内 容 : 飲食店の経営およびその他付帯業務

### Komars Group について

シンガポールを拠点に、日本のみならず、香港、タイ、マレーシア、中国、ベトナムなど、アジア全域を拠点として、外食事業のほか、理美容事業やトータルマネジメント事業などを展開しています。シンガポールでは、寿司、うなぎ専門店、日本のご当地ラーメン店を集めた店舗運営などを行っております。

### 本件に関するお問い合わせ

株式会社 OIC グループ 経営戦略本部 広報室 : <https://oicgroup.co.jp/contact/media>